

おおくら

広報

平成

26/12

No.664

「おいしいなめこ
いただきます！」

— 肘折なめこ・こけし祭り —

— 主な内容 —

02 | 除雪体制

04 | 海外研修レポート

06 | 柿崎議長総務大臣表彰受賞

07 | 老人クラブ創立50周年記念大会

冬の快適な暮らしと生活路線確保へ



平成26年度 大蔵村除雪体制
除雪延長 60.4km / 除雪機械 14台配備

作業中は決して近寄らないで下さい。
(重大な事故につながりますので、
作業中、道路では決して子どもを遊
ばせないで下さい。)

③除雪の障害物には、赤い布をつ
けて下さい

雪は、除雪に支障のある障害物を
すっぽりと隠します。除雪に支障を
きたす障害物がある場合には、所在
を明らかにするため、大きな赤い布
で明示して下さい。

④ダメ絶対！路上駐車

路上駐車は、除雪作業の妨げにな
るとともに事故の原因になります。
路上駐車は絶対しないで下さい。



⑤転落事故防止のため、蓋を閉め
ましょう

除雪作業後も流雪溝の投雪口の蓋
を開けたままにしておくと、歩行者
や自動車の転落事故につながり大変
危険です。投雪作業の後はもちろん
一時的に離れる場合も投雪口の蓋を
必ず閉めるようお願いいたします。

また、蓋の閉め忘れや蓋の収まり
がしつかりなっていない場合に除雪
で破損した蓋は、役場・除雪業者で
は修繕いたしません。自己負担によ
り修繕していただきますのでご注意
ください。

⑥道路への屋根からの落雪は、除
雪を行いません！

屋根からの落雪が通行人や通行車
両へ直撃し、重大な事故が発生する
恐れがあります。このような事故が
発生した場合は建物の所有者の責任
になりますので、雪崩止めの設置を
するようにしてください。なお、雪
崩止めの設置について、リフォーム
補助の対象となる場合があります。

※除雪についての要望等は、必ず
地区代表さんを通じて役場地域整
備課までご連絡ください。
☎75-2102(内線223)

村の除雪計画

今年の出動態勢

今年、村内6基地に14台の除雪
車を配備して、村道の除雪作業を計
画しています。公共・公益性の高い
順に作業を行い生活路線の確保に全
力をあげます。

降雪10cmで出動

除雪車が出動する目安は、10cm以
上の降雪があった場合を原則としま
す。除雪により道路状況が悪化した
場合には状況に応じ、路面を整備し
ます。

作業完了目標時間

作業は午前7時30分まで終了する
事を目標としておりますが、大雪の
日など、作業の進み具合によって遅
れることもありますので、ご了承く
ださい。

いよいよ今年も本格的な降雪の時期となりました。村では今年も「日本一雪に強い村」を目指し、除雪体制に万全を期しますが、やはり住民の皆さんの思いやりや助け合いがなければ、豪雪地大蔵村での快適な冬は実現できません。
この冬も、皆様のご理解ご協力をお願いします。

除雪作業にご協力を

除雪作業はちょっとしたことでト
ラブルが発生しやすく、スムーズな
除雪作業に支障をきたすばかりでな
く、大変危険が伴い、事故につな
がりかねません。一人ひとりの注意
によって効率のよい作業ができるよ
うにご協力をお願いします。

①お願いー道路に雪を出さないで
下さい

道路に雪を出されますと除雪作業
に時間がかかり、作業が困難になり
ます。宅地内の雪処理は空地等を利用
するなどして道路に雪を出さない
で下さい。また、側溝を利用する場
合は地区で話し合って効率の良い方
法を考えましょう。

②キケンー作業中は近寄るな

除雪作業は大変危険な作業です。

油断大敵

油の流出事故が
多発しています！

その多くが人的ミスによるものです。
——事故を防ぐための心掛け——

○その場を離れ
ない！

ホームタンク
から灯油を小
分けする時は、
絶対にその場
を離れない。



○配管の場所には目印を！

除雪による配管の破損を防ぐため
に、目印を立てる。

○落雪に注意！

落雪によるホームタンクの転倒を
防ぐために、雪囲いをする。

○定期点検を怠らない！

配管やホームタンクの定期点検を
行う。

事故を起こした場合や発見した場
合は、役場・消防署・警察署へご連
絡ください。

最上川水系水質汚濁対策連絡協議会
事務局 国土交通省山形河川国道
事務所河川管理課
☎023-688-8942
☎75-2102
役場地域整備課

除雪ボランティア 登録募集！

毎年のように豪雪となる大蔵村の
冬に備え、村内の高齢者世帯などで
雪かきが困難な方々へお手伝いをし
てくださる「ボランティアの登録」
を募集します！

◎活動日時(予定)

・平成27年1月から3月末まで
・午前9時から正午まで
※詳しい日程は、登録いただいた
方にお知らせします。

◎活動エリア 大蔵村内

◎登録資格 大蔵村内居住の方

◎その他

・除雪場所には、現地集合が基本
になります。
・除雪に必要な用具は、各自ご持
参下さい。
・ボランティア活動保険に必ずご
加入いただきます。
(保険料一人300円は自己負
担になります)

※活動期間中、随時登録を受けけて
います！

【申込み・問合せ先】
社会福祉法人大蔵村社会福祉協議
会(大蔵村役場内)
☎75-2104 内線275

大蔵村海外研修レポート

消費者の心を掴む6次産業化への取り組み～先進地イタリア北部訪問～



今月号では、10月25日(土)～31日(金)までの7日間実施された「大蔵村海外研修」に参加された皆さんの感想をご紹介します。

イタリア研修を終えて

國分 智博 (白須賀)

今年度の大蔵村海外研修事業に参加し、貴重な体験をさせていただきました。感謝しています。私は、現在両親とともに農業を営んでいます。研修内容が6次産業化の取り組みを行っている農家や企業の視察という事で興味を持ちました。初めての海外という事で不安もありましたが、他を見ることで日本や大蔵村、自分自身の課題も見えてくるのではと思いを参加させていただきました。

研修では、イタリアで代々稲作、果樹、畜産を行っている農家が、国の支援を受け施設等を増設し、農産物の生産だけでなく、加工から販売・レストラン等を経営している現場を視察してきました。また、若手農家との交流会も行い、仕事や私生活の話など聞かせてもらい、文化の違いはあるものの同じ若手農家としていい刺激を受けてきました。今後、現状では厳しい環境にある

イドを持ち、安心安全を忘れず、さらに家族を尊敬する姿勢は世界共通だと、改めて感じました。今回の海外研修には、若い皆さんがぜひ参加し、人生の糧にしていたきたいと願います。

研修で学んだこと

八 鍬 美沙紀 (赤松)

この度、6次産業への取り組みを学ぶためイタリアへ行ってきました。色々な現場を訪れ、研修を終えて分かったことは、6次産業とは地域資源を有効に活用し、生産者(第1次産業)がこれまでの原材料供給者としてだけでなく、自ら加工し(第2次産業)流通や販売(第3次産業)にも業務展開することで所得の向上を目指すということでした。

ヴェローナで訪れた会社では、そこで収穫されたお米を使ったお菓子の加工工場、レストランや売店を見学してきました。また、パドヴァでは食肉加工の酪農家やチーズの製造販売農家などを訪れました。訪問先で共通している点は、自らが飼育している牛や豚や農産物に、こだわりを持って加工し販売までを行っているという事でした。こうして6次産

研修で感じたこと

三 條 正通 (白須賀)

この度、イタリアに海外研修で

ることとなり、日本では味わうことができないような体験ができました。イタリアは日本と気候が似ていて、少し湿気が少ないくらいで過ごしやすかったです。古い物を大切にしている風習があり、建物は修復して使っていて、街並みは歴史的建造物と石畳がとても美しかったです。



▲食品加工のオビニオンリーダーであるガブリエリ氏

業化にすることによって、農家であれば気候に左右されることなく安定した収入が得られます。また、中間コストを削減できるというメリットもあります。研修を通して、イタリアでは家族経営を大事にし、地域・歴史・文化を重視する風土が根強いと感じました。こうした郷土愛こそが、消費者の心を掴むのだとも思いました。地域を守り大事にするという共通認識が強くなれば、大蔵村ももっと良い村になるのではないのでしょうか。この村で育ったことに感謝し、両親や村の人達がそうであるように、私自身も大蔵村の特産物をもっと色々な分野で紹介していきたいと思えました。

地域に誇りを持つ イタリアの産業にふれて

土 田 梓 (上竹野)

今回の6次産業で目の当たりに

研修先は、北イタリアのミラノ、ヴェローナ、パドヴァで、農業の6次産業をしているところに行きました。6次産業という事で生産・加工・販売を会社または家族で行っていて、有機農業や無農薬にこだわり付加価値を付けているそうです。若手農業従事者も多く、僕も農業をしている者として励まされます。この研修を通じて体験したこと感じたことは、今後の自分に活かしていきたいと思っております。



▲説明してくれたオーナーさんたちと一緒に(パドヴァ郊外の酪農家視察にて)

イタリア研修に参加して

伊 藤 美恵子 (清水三)

この度、ままちゃん工房の一員として、イタリア海外視察研修へ参加

たのは、農業などを使わず人体に害のない有機栽培(BIO)に力を入れた取り組みでした。日本でも、現在では多くの農家で有機栽培をしていますが、普段、私たちがスーパーなどで食品を購入する際、低価格の商品を求めるのが一般的だと思います。日本でもそうですが、イタリア人は「食」への関心がさらに高く、アレルギーを起しにくい、安心・安全な商品が強く求められています。また、農業従事者は地域への愛情が非常に強く、個々にこだわりを持っているという言葉を聞き、私の生まれ育った大蔵村も同じだ、若者からお年寄りまで地域に誇りを持ち、村全体がいっききしていると感じました。 今回の研修を通し、大蔵村の若者として地域に誇りを持ち、村で取り組んでいる産業や特色を、外部に発信していきたいと強く感じました。



▶イタリアでは建物のデザインを統一し、古いものは壊さず修復することで美しい町の景観を守っていました



▲お米大使と呼ばれるガブリエリ氏は、食育の一環で料理教室も行っていました

させていただきました。まずはミラノに到着。歴史的建造物に魅了され、本場カツレツの昼食で気持ち新たに研修地へ向け移動しました。5つの研修先は、どれもどこかな農村地帯で6次産業化を実践中でも印象深かったのは、こだわりのお米作りはもちろん、小麦アレルギーに対処し米粉でお菓子製造販売のレストラン、食育で社内料理教室を完備、世界各国でイタリア米の普及に励み、お米大使と呼ばれるまでになったオーナーのお米に対する情熱を聞いたことです。また、2軒の酪農家ではどちらも牛舎豚舎の匂いが外に漏れないことに驚き、農家民宿では有機野菜と笑顔でおもてなしがあり、視察先全て今日に至るまで、苦勞の末の成功や商品に対してプラ

大蔵村老人クラブ連合会 創立50周年記念大会



▲三遊亭好楽師匠

▲おぼん・こぼん師匠

大蔵村老人クラブ連合会が今年で創立50周年を迎えたことを記念した大会が、11月9日(日)、中央公民館で開催されました。

現在、村には10のクラブがあり、計460人の皆さんが高齢者福祉の向上と仲間づくりを目的に自主的に活動を展開されており、記念式典では、超高齢化社会を迎えるにあたり、明るく豊かな社会を実現するため、今後も各世代間と連携して「健康」「友愛」「奉仕」の三大運動を柱とする幅広い地域貢献事業に取り組んで行こうと、大会宣言が読み上げられました。

また、記念事業として、漫才師おぼん・こぼん師匠と落語家三遊亭好楽師匠による講演会も開催されました。おぼん・こぼん師匠は漫才のほか、軽快なタップダンスと歌を披露。人気番組「笑点」でおなじみの三遊亭好楽師匠は、笑えば寿命が伸びると、落語や当意即妙なやりとりで会場を沸かせていました。

村ぐるみの健康づくり 大蔵村が大平・熱海・岸賞受賞！



この度、公益財団法人やまがた健康推進機構より、創立50周年記念の式典の席上で、大蔵村が「大平・熱海・岸賞」を受賞し表彰されました。これは、村民の健康維持増進のため、検診受診率の向上等に尽力した功績が認められたもので、同機構の創立30周年記念式典が行われた平成6年に引き続き、2回目の受賞となります。

11月12日(水)、この度の受賞をみんなで祝おうと、受賞披露会が中

央公民館で開催されました。歴代の保健衛生推進員の皆さんや関係者約70人が参加して、互いの労苦を労い感謝すると共に、村診療所長の荒川先生により、村の健診の取り組みについてお話がありました。

大蔵村は、村民の基本健診受診率が県内でも一番高く、がん検診や精密検診の受診率もトップクラスです。このため、老人一人当たりの医療費は県内でも低く、がん治療一人当たりの医療費は早期発見が多いことから県平均を下回るという成果を上げています。要因としては、各地区に保健衛生推進員が選出されていて、推進員が中心となって健診の案内や声かけを行い、地域ごと健康を守る体制ができたことがあげられます。

この受賞を励みに、家族そして地域ぐるみで積極的に健診を受け、いつまでも健康な体づくりに励んでいきましょう。



村議会議長 柿崎幹雄さん(赤松) 総務大臣表彰を受章



町村の議会議長として、通算12年以上在職し、地方自治の発展に功労があったと認められた方に贈られる総務大臣表彰が、柿崎幹雄村議会議長に贈呈されました。

柿崎議長は、昭和58年5月1日に村議会議員に初当選され、以来8期30年有量の長期にわたり在職し、村や議会の発展にご尽力されています。

さらに、平成13年10月23日には村議会議長に就任され、現在まで、議会運営はもとより住民福祉の向上、地域の振興発展に寄与されてきました。また、これまで最上地方町村議会議長会会長、山形県町村議会議長会会長、北海道・東北町村議会議長会会長などの要職も歴任されております。

誠にありがとうございます。

家屋を取り壊した時は、 固定資産税の手続きを！

家屋(住宅、車庫、作業所など)を取り壊した時は、次のような手続きが必要になりますのでお知らせいたします。

これらの手続き後、役場住民税務課職員が現地に向い、建物の滅失を確認いたします。翌年からその家屋の固定資産税は課税されません。

登記されている家屋を 取り壊した場合

法務局で「滅失登記」の申請をしてください。この場合、役場への届出等の手続きは必要ありません。ただし、滅失登記の申請が平成26年12月末までに完了しない場合は、12月末までに「建物滅失申告書」を住民税務課まで提出してください。

登記されていない家屋を 取り壊した場合

取り壊したら直ちに、「建物滅失申告書」を住民税務課まで提出

してください。なお、課税の基準となる平成27年1月1日に家屋が存在していた場合には、平成27年度の固定資産税は課税されます。

また、平成26年以前に滅失した家屋について、平成27年1月1日後に届出をされた場合には、原則届出したその年(平成27年度)は課税の対象になりますのでご注意ください。

◎家屋(住居用)を取り壊した場合、土地に対する固定資産税の税額が高くなる場合があります

住宅が建っている土地(住宅用地)は、「住宅用地に対する課税標準の特例」が適用され、固定資産税が軽減されています。そのため、住宅を取り壊すとその特例の適用から外れることになり、税額が高くなる場合があります。

◎家屋を新増築した場合は連絡を

家屋(住宅、車庫など)を新築、増築した場合は、家屋調査の対象となりますので、住民税務課まで連絡してください。

問合せ 役場住民税務課係
☎75-2103(内線252)

ホットニュース

—WARMHEARTED REPORT—

「どんぐり」増棟工事中!



大蔵村子育て支援住宅「どんぐり」の増棟工事が、10月より始まりました。「どんぐり」は、既に10世帯の子育て世代の方々が入居していますが、この増棟によりさらに5世帯の入居が可能となります。本格的な降雪を前に、作業員の方々は急ピッチで作業をされていました。

「一瞬一瞬を大切に 全力で」 吉田沙保里選手来村



10月22日(水)、村内の小中学生を対象に、レスリングで五輪3連覇を含め、世界大会15連覇を果たした吉田沙保里選手を招いた教育講演会が、中央公民館で開催されました。ロンドン五輪で金メダルを取るまでの苦悩や、強い気持ちで挫折から打ち勝ち、あきらめないで努力した話等がありました。子どもたちは、一瞬一瞬を大切に全力で取り組むことの大切さを、吉田選手から学んだことでしょう。

実りの秋!村の特産が勢ぞろい 第9回 おおくら大産業市



▲たくさんの人で賑わった豊年餅まき

10月26日(日)、おおくら大産業市が中央公民館前広場で開催されました。秋晴れのさわやかな天候に恵まれ、会場は1,000名を超える方々で賑わいました。餅つき大会や豊年餅まきなどが行われ、当日はもち米3.5俵分の餅をつき、納豆、きなこ、お雑煮にして訪れた皆さんに振る舞われました。村の特産品が並んだ産直テント村では、お客さんとの会話ははずみ大盛況。会場は、終始活気にあふれていました。

絶品なめこ、ご賞味あれ! 第50回肘折温泉郷なめこ・こけし祭り



11月11日(火)、肘折温泉郷秋の一大イベント、なめこ・こけし祭りが肘折いでゆ館で開催されました。村内外から約1,000名の方が訪れ、鶏ガラをベースにしょうゆ、酒粕を使用した肘折独特のなめこ汁を味わいました。他にも生なめこつかみ取り大会、きき酒大会、なめこ箸つまみ競争といったユニークなイベントや、伝統の肘折こけしの即売などの催しが繰り広げられました。会場は大いに盛り上がり、訪れたお客さんは、秋の肘折を満喫していました。

写真と史料で 振り返る我が大蔵村 清水・合海における 水害について⑧

文・文化財保護委員 熊谷 勝保

② 小屋 正一 氏 (昭和五年生れ・清水)

いつも水上がりというところじゃがいつもの収穫の頃で、川端の畑の人は苦勞した。昭和十九年も大水で、家には床上五寸位あがったが、味噌桶はひっくり返るし大変だった。牛や馬がいる人は、清水の高台の御観音様のところにつないで来た。しかし、一番困るのは便所に水が上がる事だった。自分は親から、稲杭を一番早く片付けろ(稲杭は皆が使う時期が同じだから他人から借りられない)と言われた。川が出水の時は、川の中央が盛り上がり流れて、上流から家や小屋が流れてきた。大蔵橋のピンヤ(橋の土台)にぶつかり壊れながら流れたし、家畜も流れてきた。上流の大石田からは、一時間すると清水で出水、引け水の反応があるので大石田の情報が大事だった。引け水の時はずばやく泥を洗い流すのが大変で、遅れると、泥が二寸位床の上に置いていかれる。

舟も流れて来ることもあった。拾った人は役場に届けた。舟を流した人が舟を探しに歩いてきたが、拾った人からお礼をはたられていた。材木も流れてきた。東風(だし)の時には大蔵橋の所で待ち受け、良い材木が流れてくると、泳いでいて材木にロープを巻き付け引き上げた。昔はイカダで材木を運んでいたので、家を建てる材木を大量に流してしまうこともあった。

堤防は、昔からの内堤防と今の外堤防がある。内堤防の出来た年代は分からないが、清水・合海の集落が出来た頃だと思ふ。場所は、仙台屋さん(清水上の方)から合海の金刀比羅様の所までで、今は村道になっている。今思えば低い堤防だったが、人家のすぐ裏にあつて、外堤防が出来るまで、清水・合海の人家を守っていた。外堤防は大蔵橋の所から合海の天狗まで続き、人家と水田を守るための堤防だが、昭和十九年の水害の時はまだ堤防と呼べるものはなかったが、明治の末ごろ、清水・合海西裏の開田がはじまった時に堰が掘られた。その堰の土手に手を加えたような土手を、外堤防と言っていた。それから今までに、四、五回位作り直されて現在の形になった。昭和十九年の時、家の裏の堤防が大きく破れたので、山形の師範学校の生徒達が三十人以上、勤勞奉仕で堤防作りを手伝ってくれた。

読んであげたい
4501冊の
絵本の語の宝庫
「星と月の生まれた夜」
文 Dクテイエレス
絵 MFオリベル
訳 山本 厚子

悲しくなるのでした。そこである日、男は山に登り、やみ夜に向かつて叫びました。「おーい、やみ夜、暗くするのをやめておくれよ!」しかし返ってきた答えは「わたしにはどうすることもできないんだよ」男はそれから考えます。さていったいどんなことになるのでしょうか。



※中央公民館で借りられます。読み聞かせ時間「6分」。

教育振興会から 奨学生募集のお知らせ

—来年1月から募集を開始します—

国分忠之助教育振興会、後藤榮教育振興会、株式会社力ドワキ教育振興会では、平成27年度奨学生を募集します。

○応募資格
大蔵村に住所を有する者の子弟で、平成27年度に高校・専修学校・大学・大学院に進学を希望し、又は現に在学している者で、学力優秀かつ学資の支弁が困難な者。

○募集予定人員 (※変更の場合あり)
高校奨学生、専修学校奨学生、大学・大学院奨学生 各3名

○貸与額(月額)
高校奨学生2万円
専修学校奨学生3万5千円
大学・大学院奨学生3万5千円

問合せ先 教育委員会 ☎75-2323

12月14日(日)は、衆議院議員総選挙の投票日です。

今月の納税(納期限12月25日)、村県民税(第4期)、国民健康保険税(第6期) ※納期限まで忘れず納税しましょう。口座振替の方は残高の確認をお願いします。

INFORMATION



お知らせ

大自然にいっぽ めんごキャンプ～冬～
 ◎日時 H27.1/10(土)11:00～1/11(日)14:00
 ◎会場 神室少年自然の家及びその周辺
 ◎内容 【子どもプログラム】雪遊び、館内テント泊、カレーうどん作りなど
 【保護者プログラム】雪遊び、読み聞かせワークショップ、料理作りなど
 ◎対象 年長児、小学校低学年児童とその保護者15組
 ◎参加費 こども 1人2,400円 大人 1人2,600円
 ◎申込締切 12/13(土)
 申込 山形県神室少年自然の家 ☎62-2611

第89回市民映画劇場 「石川文洋を旅する」

◎日時 12/20(土) 19:00上映(約108分)
 ※上映前に大宮浩一監督(新庄市出身)の舞台挨拶有り
 ◎会場 新庄市民プラザ
 ◎料金 1,000円(当日1,200円)
 ◎チケット販売場所 市民プラザ、文化会館、もがみ物産館

夜間・休日応急診療所
 新庄市保健センター内に開設
 新庄市夜間休日診療所 ☎29-6300
 ●診療科目 内科・小児科
 ●診療時間 夜間診療 19時～21時30分
 休日診療 12月12日(土) 9時～17時31分
 12月13日(日) 9時～17時31分
 問合せ先 新庄市健康課健康推進室 ☎22-1211

☎ プライマルプロジェクト ☎22-6155

やまがた結婚サポートセンター 出張登録・閲覧会

登録会員同士がお相手を直接検索できる「出逢いやまがた(1対1のお見合い支援サービス)」です。
 ◎日時 12/13(土)、14(日) 10:00～17:00
 ◎会場 新庄市民プラザ
 ◎申込締切 12/10(水)正午
 申込 やまがた結婚サポートセンター ☎023-687-1972

大蔵村湯の台スキー場オープン

◎営業日
 ▼毎日 H26.11.29～H27.1.12 H27.3.16～5月上旬
 ▼土日祝日のみ H27.1.13～3.15
 ◎営業時間 8:30～16:30
 ◎料金 ①クロスカントリー 一日券400円、シーズン券3,000円
 ②アルペンリフト券 一日券2,000円、半日券1,500円、シーズン券15,000円
 ※積雪状況により休業の場合もありますので、事前にゲレンデの状況をご確認ください。
 申込 湯の台スキー場『ノルディック館』 ☎76-2636

自衛官等募集

◎募集種目 高等工科学校(一般)
 ◎募集資格 中卒～17歳未満の男子
 ◎受付期間 H27.1/9(金)まで
 ◎試験日 H27.1/24(土)
 申込 自衛隊新庄地域事務所 ☎22-5057

平成27年度生 新庄コアカレッジ願書受付中

学 科	定員	修業年限
介護福祉科	30名	2年
情報システム科	20名	2年
医療ビジネス科	20名	2年
ビジネスIT科 公務員・OAコース	20名	2年

◎資格 高等学校を卒業した者、H27.3月卒業見込の者、またはこれと同等以上の学力を有する者
 ◎願書受付期限 H27.3/31(火)
 申込 新庄コアカレッジ ☎29-2121

知財総合支援窓口

◎相談内容 特許や商標などの出願手続き方法や費用、知的財産で保護を図りながらのブランド確立など
 ◎相談電話 023-647-8130
 ◎開設時間 8:30～17:15 (土日・祝日・年末年始を除く)
 ◎相談料 無料
 申込 一般社団法人山形県発明協会 ☎023-647-8130

「冬期間の水道料金」について

冬期間は積雪のため、水道のメーター検針ができなくなります。12・1月分と2・3月分の水道料については、昨年冬期間の平均使用水量に基づいて請求し、平成27年5月のメーター検針で精算いたします。一般の下水道料金についても同様の取扱いとなります。ご理解のほどお願いします。
 申込 役場地域整備課上下水道係 ☎75-2102

「2015年版 やまがた県民手帳」販売中です!



1冊 600円(税込)
 (カラー:キャメル サイズ:164×87mm)

◎購入方法 役場総務課まで直接おいでいただくか、地区回覧でのご案内(平成26年12月14日(日)まで)によりお申込ください。代金と引き換えに手帳と領収書をお渡しします。
 ※役場での取り扱いは、平成27年1月30日までです。数に限りがありますので、どうぞお早めにお申し出ください。
 問合せ 役場総務課政策推進係 ☎75-2111(内線213)

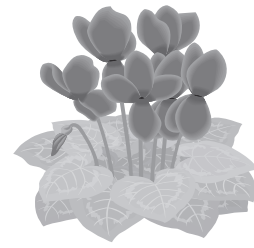
仕事や生活に役立つ資料満載の「やまがた県民手帳」が今年も発売されています。県の統計資料に加えて、県・市町村・団体・企業の名簿や県内のお祭り・イベント情報、観光マップに防災情報なども掲載され、この一冊で“山形がわかる”便利な手帳です。

2015年農林業センサスにご協力ください

平成27年2月1日現在で、全国一斉に“農林業の国勢調査”といわれる「2015年農林業センサス」が実施されます。この調査は、今後の農林業の政策に役立てるために5年ごとに実施される極めて大切な調査です。
 平成26年12月下旬から農林業を営んでいる皆様のごところに調査員が訪問して、調査票に農林業の経営状況などの記入をお願いしますので、ご協力をお願いします。
 問合せ 役場総務課政策推進係 ☎75-2111(内線213)

戸籍の窓

(10月16日～11月15日届出分)
お誕生おめでとう
 地区 お名前(保護者名)
 上竹野 齊藤 和香ちゃん(宏)
 赤松 五十嵐さらちゃん(修平)
 清水二 越後 萌菜ちゃん(和晃)
お悔み申し上げます
 地区 お名前(年齢) 世帯主
 赤松 八鍬あけみ(57) 敏 昭
 合海 信田タミエ(100) 寿 美
 ○届出の際に、掲載希望の確認を行っています。窓口にお申し出ください。



人のうごき

世帯数	1,103戸	(1,103戸)
人口	3,604人	(3,659人)
男	1,762人	(1,783人)
女	1,842人	(1,876人)
出生	男0人 女3人	計3人
死亡	1人 5人	6人
転入	1人 2人	3人
転出	2人 5人	7人

※平成26年10月末現在 ()内は昨年同期

放射線の測定・検査結果を公表します (単位:μSv/h)

大蔵村空間放射線測定結果

測定日	測定場所	大蔵中学校グラウンド		大蔵村保育所グラウンド		赤松生涯学習センター駐車場		沼の台保育所グラウンド		肘折いでゆ館前広場	
		地上50cm	地上1m	地上50cm	地上1m	地上50cm	地上1m	地上50cm	地上1m	地上50cm	地上1m
平成26年11月19日(水)	測定値	0.05	0.05	0.06	0.05	0.06	0.06	0.03	0.03	0.04	0.04

▶測定方法:地上50cmと1mの高さで測定しました。 ▶測定機器:シンチレーション式サーベイメータ

今月の窓口延長 25日(木)午後7時まで

おおくらっ子 写真館



このコーナーでは、村内のこどもを紹介しています。
ご親戚、お友達、ご近所のお子さんの掲載もお楽しみに！

(合海) 加藤 優^ゆ
(和平) 生^きくん



★すきなもの
アンパンマンと鳥川じいじ



(合海) 矢作 門^{かど}と
(淳也) 夢^{ゆめ}くん



★すきなもの
ヤマザワとパワーシヨベル



うちのGOZZO

なます 今月の一品 ① 大黒生酢

このコーナーでは、地元の素材を使った
おいしい一品をレシピとともに紹介します。
ぜひお試しください♪



- ① 黒豆を、木槌か金槌でゆっくり叩いてつぶす。
- ② 大根おろしを作る。
- ③ ①に砂糖、酢を加えて、黒豆が好みの硬さになるまで煮る。
- ④ ②と③をあえる。
- ⑤ 好みの塩加減で味をととのえて、出来上がり。



- 黒豆 . . . 一握り
- 大根 . . . 1本
- 砂糖 . . . 大さじ2
- 酢 . . . 50cc



— 協力者：伝承料理を楽しむサークル「ずっくび」のみなさん —



編集と発行 ● 山形県最上郡大蔵村役場総務課 電話 (0233) 75-2111

ホームページ 検索 URL <http://www.vill.ohkura.yamagata.jp/>
メールアドレス info@vill.ohkura.yamagata.jp